

大麦

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
アクチノール乳剤 (注1)	アイキシニル	一年生広葉雑草	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	雑草茎葉散布又は 全面散布
ガレースG (注2)	ジフルフェニカン・トリ フルリン	畑地一年生雑草	【秋播栽培】 は種後発芽前(雑草発生前) 【秋播栽培】 大麦1~2葉期 (雑草発生前~発生始期)	全面土壌散布
クロロIPC (注1)	IPC	一年生雑草	は種直後または2~3葉期	全面土壌散布
トレファノサイド乳 剤 (注3)	トリフルリン	一年生雑草 (ツクサ科, カヤツリガ サ科, キク科, アブラナ 科を除く)	は種後出芽前~3葉期 (雑草発生前~雑草発生始期) 生育期(雑草発生前) 但し, 収穫45日前まで	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布 全面土壌散布
トレファノサイド粒 剤2.5 (注1)		一年生雑草 (ツクサ科, カヤツリガ サ科, キク科, アブラナ 科を除く)	は種後出芽前 生育期雑草発生前 但し, 収穫45日前まで	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布 雑草茎葉散布又は 全面土壌散布
<p>(注1) 麦類に登録 (注2) 小麦, 大麦に登録 (注3) 麦類(小麦除く)に登録</p> <p>(注意事項) 【土壌処理】 (1) 覆土が浅い場合には, 薬害が出やすいので, 覆土深は2~3cm程度とする。 (2) 砂壤土では, 薬害が出やすいので注意する。 (3) ガレースGの使用により, まれに麦の葉身に白斑が見られるが, その後回復し, 麦の生育・収量には影響はない。また, 砂壤土での使用を避ける。 【茎葉処理】 (1) アクチノール乳剤は広葉雑草の6葉期頃まで(但し, ヤエムグラは4節期まで, タネツケバナ, カラスノエンドウは2~3葉期まで)に使用する。</p>				

サツマイモ

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
クレマートU粒剤	ブタミホス	一年生雑草	挿苗後(雑草発生前)挿苗3日後まで	全面土壌散布
ザクサ液剤	ゲルホネートPナトリウム塩	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期:挿苗前又は畦間処理)	雑草茎葉散布
セレクト乳剤	クレトジム	一年生イネ科雑草	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 但し、収穫100日前まで	雑草茎葉散布又は全面散布
デュアールゴールド	S-メトラクロール	一年生雑草	挿苗後 但し、収穫90日前まで (雑草発生前) マルチ前・挿苗前 (雑草発生前)	全面土壌散布
トレファノサイド粒剤 2.5	トリフルラリン	一年生雑草 (ツクサ科, カヤツリグサ科, キク科, アブラナ科を除く)	挿苗前雑草発生前	全面土壌散布
挿苗後雑草発生前 但し、収穫60日前まで			全面土壌散布又は畦間土壌散布	
トレファノサイド乳剤			挿苗前雑草発生前	全面土壌散布
			挿苗後雑草発生前 但し、収穫60日前まで	全面土壌散布又は畦間土壌散布
ナブ乳剤	セトキシジム	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 但し、収穫30日前まで 雑草生育期(イネ科雑草6~8葉期) 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉散布又は全面散布
バスタ液剤	ゲルホネート	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期:挿苗前又は畦間処理)	雑草茎葉散布
プリグロックスL	ジクワット・パロコート	一年生雑草	植付前 畦間処理:雑草生育期 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉散布
ポルトフロアブル	キサロホップエチル	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	雑草生育期(イネ科雑草3~10葉期) 但し、収穫14日前まで	雑草茎葉散布又は全面散布
ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	一年生雑草	耕起前又は挿苗前まで (雑草生育期) 収穫60日前まで (雑草生育期:畦間処理)	雑草茎葉散布
ロロックス	リニユロン	一年生雑草 一年生広葉雑草	種いも植付後萌芽前まで 苗移植前まで 生育期 但し、収穫45日前まで(雑草生育期)	全面土壌散布 雑草茎葉兼土壌散布(畦間処理)
ワンクロスWG	フルアジホップP リニユロン	一年生雑草	生育期(雑草発生前) 但し、収穫60日前まで	雑草茎葉兼土壌散布(畦間処理)
ワンサイドP乳剤	フルアジホップP	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く), シバミギ, レットトツ	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 但し、収穫60日前まで	雑草茎葉散布又は全面散布
(注意事項)				
【土壌処理】				
(1)粒剤は葉に水滴のないとき処理する。				
(2)デュアールゴールドは、イネ科雑草優占ほ場で使用する。				
【茎葉処理】				
(1)イネ科雑草が枯れるまでワンサイドP乳剤は3週間、ナブ乳剤は7~10日、ポルトフロアブルでは完全に枯殺するまでには2~4週間要するので、誤ってまき直しなどしないように注意する。				
【茎葉処理・畦間処理】				
(1)ラウンドアップマックスロードは、飛散防止カバーを使用し、作物体にかからないよう注意する。				
(2)ロロックスは、高畦栽培では効果が不足するため使用しない。				
(3)ワンクロスWGの使用に当たっては次の点に留意する				
・散布液の調製にあたっては、薬剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布する。				
・カヤツリグサ科雑草には効果が劣るので、これら雑草の優占圃場での使用は避ける。				
・散布適期は雑草発生前(草丈10cm以下)であり、使用時期を失しないように散布する。				
・作物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように使用する。				

大豆

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
セレクト乳剤	クレジム	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを 除く)	雑草生育期 (イネ科雑草 3～5 葉期) 但し、収穫50日前まで	雑草茎葉散布又は 全面散布
			雑草生育期 (イネ科雑草 5～8 葉期) 但し、収穫50日前まで	
		スズメノカタビラ	雑草生育期 (イネ科雑草 3～5 葉期) 但し、収穫50日前まで	
大豆バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	ベンゾグァンナトリウム 塩	一年生雑草 (イネ科を除く)	だいたいの2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) 但し、収穫45日前まで	雑草茎葉散布又は 全面散布
			だいたいの生育期 (雑草の生育初期～6葉期) 但し、収穫45日前まで	畦間雑草茎葉散布
トレファノサイド粒 剤 2.5	トリフルリン	一年生雑草 (ツクサ科, カヤツリガ サ科, キ科, アブラナ 科を除く)	は種後出芽前	全面土壌散布
			定植前 (植穴掘前)	畦間土壌散布
ナブ乳剤	セトキシム	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを 除く)	雑草生育期 (イネ科雑草 3～5 葉期) 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉散布又は 全面散布
			雑草生育期 (イネ科雑草 6～8 葉期) 但し、収穫30日前まで	
			雑草生育期 (イネ科雑草 9～10葉期) 但し、収穫30日前まで	
フィールドスターP 乳剤	ジメタミトP	一年生雑草 (アカサ科・アブラナ 科・タデ科を除 く)	は種後出芽前 (雑草発生前)	全面土壌散布
ポルトフロアブル	キサロホップエチル	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを 除く)	雑草生育期 (イネ科雑草 3～10葉期) 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉散布又は 全面散布
ラッソー乳剤	アラコール	一年生雑草	は種後出芽前	全面土壌散布
<p>(注意事項)</p> <p>【土壌処理】</p> <p>(1)砂壌土ではラッソー乳剤は低薬量で使用する。</p> <p>【茎葉処理】</p> <p>(1)イネ科雑草を枯殺するまでに、ナブ乳剤で7～10日、ポルトフロアブルでは完全に枯殺するまでには2～4週間要するので、誤ってまき直しなどをしないように注意する。</p> <p>(2)大豆バサグラン液剤は、大豆の品種によっては薬害による減収が報告されているので注意が必要である。</p>				

落花生

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
クレマート乳剤	グタミホス	一年生雑草	は種後発芽前 (雑草発生前)	全面土壌散布
クレマートU粒剤				
トレファノサイド粒 剤 2.5	トリフルリン	一年生雑草 (ツクサ科, カヤツリガ サ科, キ科, アブラナ 科を除く)	は種直後	全面土壌散布
ラッソー乳剤	アラコール	一年生雑草	は種後出芽前	全面土壌散布
<p>(注意事項)</p> <p>(1)クレマートU粒剤, クレマート乳剤は砂壌土では低薬量で使用する。</p> <p>(2)ラッソー乳剤は広葉雑草に効果が劣ることがあるので、イネ科雑草優占ほ場で使う。</p>				

サトウキビ

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
アーザラン液剤	アシュラム	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育期 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉散布又は 全面散布
カーメックス顆粒水和剤	DCMU	一年生雑草	【春植え又は夏植え】 植付後萌芽前（雑草発生前） 【株出し】 萌芽前（雑草発生前）	全面土壌散布
		一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草生育期 但し、収穫90日前まで	雑草茎葉散布
草枯らしMIC	グリホサートイソプロピルアミン塩	一年生雑草	【春植え】 耕起10日前まで（雑草生育期）	雑草茎葉散布
		多年生雑草		
シャドー水和剤	ハロスルフロメチル	一年生広葉雑草	一年生広葉雑草3～5葉期 （さとうきび生育初期） 但し、収穫90日前まで	雑草茎葉散布又は 全面散布
		ハマスゲ	ハマスゲ3～5葉期 但し、収穫90日前まで	
センコル水和剤	メトリアジン	一年生雑草 ムササギカハミ	【春植又は夏植】 植付直後～植付45日後まで （雑草2葉期まで）	全面土壌散布
			【株出】 萌芽45日後まで（雑草2葉期まで）	
			【春植又は夏植】 植付直後～収穫30日前まで （雑草2葉期まで）	雑草茎葉散布
【株出】 収穫30日前まで（雑草2葉期まで）				
ダイロンゾル	DCMU	一年生雑草 多年生広葉雑草	【春植又は夏植】 植付後萌芽前（雑草発生前） 【株出】 萌芽前（雑草発生前）	土壌散布
			【春植又は夏植、株出】 生育期（雑草生育期） 但し、収穫60日前まで	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布
			【春植又は夏植】 植付後萌芽前（雑草発生始期） 【株出】 萌芽前（雑草発生始期）	
プリグロックスL	ジクワット・パラコート	一年生雑草	畦間処理：雑草生育期 但し、収穫3日前まで	雑草茎葉散布
2, 4-Dアミン塩	2, 4-PAジメチルアミン	一年生及び多年生広葉雑草	植付後又は株出管理後30日以降 雑草生育期（草丈30cm以下） 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉散布又は 全面散布

（注意事項）

【土壌処理】

- (1)重粘土は十分砕土し、砂質土壌では低用量で使用する。
- (2)間作に野菜を作付するときは、両作物に登録のある除草剤を使う。
- (3)株揃えを行う場合は、必ず除草剤も散布する。
- (4)雑草多発ほ場では中耕、培土後サトウキビにかからないように除草剤を散布する。

【茎葉処理・耕起前】

耕起前にドリフトに注意しながら、雑草全体に良く付着するように散布し、耕うんは地上部が黄変してから行う。

【茎葉処理】

- (1) 間作に野菜を作付するときは、両作物に登録のある除草剤を使う。
- (2) アーザラン液剤は、干ばつ時の散布で、まれに葉害を生ずる恐れがある。効果発現まで1～2週間、枯死まで5～8週間かかる。イネ科雑草（タチスズメノヒエ、メシバ等）に効果が高い。
- (3) カーメックス顆粒水和剤は品種によっては葉害が生じるので、サトウキビの茎葉にかからないように注意する。
- (4) シャドー水和剤はイネ科雑草に効果が期待できないので、これらの雑草に有効な除草剤との体系で使用する。使用に当たっては、有機リン系殺虫剤との混用及び7日以内の近接散布は、葉害を生ずることがあるので避ける。
- (5) 2, 4-Dアミン塩はイネ科雑草に効果が劣るので、イネ科雑草が優占しているほ場では、イネ科雑草に有効な他の除草剤との組み合わせで使用する。

サトウキビ（ほ場内の周縁部）

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
タッチダウン i Q	グリホサートカリウム塩	一年生雑草 多年生雑草	収穫7日前まで（雑草生育期）	雑草茎葉散布
プリグロックスL	ジクワット・パラコート	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育期 但し、収穫3日前まで	雑草茎葉散布
ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	一年生雑草 多年生雑草	収穫60日前まで （雑草生育期）	雑草茎葉散布
(注意事項) ドリフトに注意しながら雑草全体によく付着するように散布し、耕うんは地上部が黄変してから行う。				